

ワークショップ意見集約

① 広陵町、ここがいいよね(現在)

- 人がやさしい（人情がある、意識が高い、子育て……）
 - 豊かな自然がある（緑、水、農作物、大きな公園……）
 - 歴史を感じさせる（神社、古墳、文化財、かぐや姫伝説……）
 - こじんまりとしているが、住みやすい（災害等に対して安全、子育てのしやすさ、美しい街、買い物のしやすさ……）
- ⇒ 公園や施設（図書館）が充実

④ だから、将来はこうなってほしい！

- 一言でいえば、いつまでも広陵町で住みたい！（安心して暮らせる）
- 人と人とのつながりが生まれるまち（支え合い、共助、仲間、絆）
- 多様な働きができる（含観光）
- 町民・議会・町行政が協力、連携、協働するまちづくりを
- 住民も、まちを自分事として考える（適正な役割分担、相互にコミュニケーションをはかる、上記三者が協力できる仕組み……）
- 歩いて暮らせるまち（歩ける範囲に諸施設がある、歩いて楽しい、子どもたちにも目が行き届く……）
- 地域資源が活きるまち（歴史資産、かぐや姫伝説、地域ブランド）

② 広陵町のここがあかん！

- 交通が不便（公共交通が手薄、車がないと生活できない、買い物難民のおそれ、ロードサイドショップしかない……）
- 働く場が少ない（ベッドタウン、若者が定着できない……）
- 住民間の交流が少ない（校区間、世代間、新旧住民間……）
- 住民が参加しにくいまちづくり（町民の声、行政と町民の距離感、行政にお任せしすぎの町民……）
- 町として情報発信が不十分

③ 将来、こうなったらあかん！

- 車がないと生活できないのはあかん！（公共交通の廃止）
- 旧村と新興住宅地（真美ヶ丘）の間の壁をなくさんとあかん！
- 住民同士孤立してはあかん！（高齢者、近所づきあい……）
- 弱者を見捨ててはあかん！
- 地域資源を大切にせんとあかん！（緑、公園、祭り、
- 町民と行政とのコミュニケーションがなくなるとはあかん！

